

「当社代表取締役森下篤史に対する融資」について

2月4日19時23分TDネットに発表いたしました融資に至りました経緯等の詳細をお知らせいたします。

この度のことで、株主様、お取引先様はじめ各位にご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫びいたしますとともに、何卒、事情ご賢察の上、ご理解を賜りますようお願いいたします。

森下代表取締役および各取締役は、この度のことを肝に銘じ、当社の成長発展のため本業に全うし誠心誠意を尽くす覚悟であります。

1. 融資までの経緯について

当初、森下個人が資金手当てをするため、不動産を売却すべく不動産会社に申し入れておりました。しかしながら、売却が2月1日（金）時点でまとめられず、2月5日の信用取引の決済が不可となれば、証券会社に森下が担保としている当社の株（約20%保有）が、市場に流れる危惧がありました。

当社といたしましては、市場に大量の株が流出した場合、株価への影響と約20%の株式の移動に伴い大株主が変更となり、経営戦略・方針等企業運営の大幅な変動が予想され、当社を取巻く環境変化が、株主様、お取引先様などに多大なご迷惑をおかけすること等を配慮いたしました。取締役会において充分なる討議、慎重審議を行い、再発防止を決議しました結果、やむを得ず会社として森下個人に貸付することを決定いたしました。

2. 金利について

当社の短期借入金の金利は、1.00%前後であります。この度は子会社への貸付金利と同じである年1.9%を適用いたしました。当金利の適用につきましては、社長に対する懲罰的な意味合いはなく、また税法上も問題ないと考えております。

3. 売却物件の保全（担保）について

森下個人の自宅（大田区田園調布）に隣接する土地（約200坪）および建物に担保を設定いたします。売却へ向けての動きは既に行っており、現在3件程度の引き合いを頂いております。

不動産会社の説明によりますと、坪あたり約400万円で売却できるとのことで、8億円程度の売却額となる可能性があると考えております。

現在、売却物件に対しては、みずほ銀行の4億円の入担があるだけです。2億円の回収につきましては不安がないと考えております。

以上